

報告事項 ア

平成29年度鳥取県教科用図書選定審議会の第1次、第2次答申について

平成29年度鳥取県教科用図書選定審議会委員の第1次、第2次答申について、別紙のとおり報告します。

平成29年7月6日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

平成29年4月27日

鳥取県教育委員会

委員長 中島 諒 人 様

鳥取県教科用図書選定審議会
会長 谷 中 久 和



平成30年度に使用する小学校教科用図書並びに特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択に関する事項について（第1次答申）

平成30年4月27日付けで諮問のあった平成30年度に使用する小学校並びに特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択に関する下記の事項について、別添のとおり答申します。

記

- 1 平成30年度に使用する小学校教科用図書（特別の教科 道徳）の採択基準について
- 2 平成30年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択基準について
- 3 市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長が採択する場合に県教育委員会が行うべき役割について
- 4 県が設置する義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択について

平成30年度に使用する小学校教科用図書（特別の教科 道徳）の採択基準

義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律及び同法施行令並びに同法施行規則の示すところに基づき、平成30年度に小学校（特別支援学校の小学部を含む。）において使用する教科用図書（特別の教科 道徳）について、市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長の行う採択に関し、基準を定める。

- 1 小学校（特別支援学校の小学部を含む。）で使用する教科用図書（特別の教科 道徳）の採択は、学校教育法附則第9条の規定による一般図書（特別支援学校・学級用）を除き、「小学校用教科書目録（平成30年度使用）」に記載されている教科書のうちから採択する。
- 2 採択地区内の市町村教育委員会は、協議して同一の教科用図書を採択するため、地区採択協議会を設けるとともに、採択に関する協議は、県教科用図書選定審議会と対等の立場で行うものとする。
- 3 採択は、県教育委員会の提供する「選定に必要な資料」に基づき、地域や児童生徒の実態等を考慮し、十分な調査研究のもとに市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長が行う。

平成30年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択基準

- 1 特別支援学校の小学部及び中学部において平成30年度に使用する教科用図書は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第13条第6項の規定により、学校教育法附則第9条の規定による教科用図書を除き、「特別支援学校用（小・中学部）教科書目録（平成30年度使用）」に記載された教科書のうちから採択する。
- 2 小学校及び中学校の特別支援学級において平成30年度に使用する教科用図書は、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を除き、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条に定めるところにより、小学校においては平成27年度、中学校においては平成28年度に採択された同一の教科用図書とすること。
- 3 特別支援学校及び特別支援学級において使用する学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択については、県教育委員会の提供する「選定に必要な資料」に基づき、児童生徒の障がいの実態等を十分考慮すること。

市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長が採択する場合に県教育委員会が行うべき役割

県教育委員会は、市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長に対し、次のことに留意し採択を実施するよう指導、助言又は援助するものとする。

1 専門的な調査研究の充実について

- (1) 選定資料が、学習指導要領に示された「目標」及び「内容」に即して各教科書の特徴等がわかるものとなるようにすること。
- (2) 学校教育に経験豊かな者のうちから、適切な数の調査員を選任し配置すること。

2 適正かつ公正な教科書採択の推進について

- (1) 採択権者は公正確保の徹底を図るとともに、自らの権限と責任において適正な採択を行うこと。
- (2) 地区採択協議会で協議して採択する場合は、関係市町村教育委員会の意向が十分反映されるよう工夫すること。
- (3) すべての検定済教科書を対象とした調査研究を行うとともに、調査員の権限と責任の範囲を明らかにすること。

3 開かれた教科書採択の推進について

- (1) 採択結果及び採択理由、選定資料、会議録、協議会委員及び調査員の氏名等を採択事務の支障のない範囲で公表すること。
- (2) 教科書展示会等の来場者の意見を教科書採択事務の改善等に活用すること。

県が設置する義務教育諸学校（県立特別支援学校）において使用する教科用図書の採択について

採択方針

各県立特別支援学校においては、「教科書選定委員会」を設置し、各学校における児童・生徒の障がい等の実態に応じた最も適当と思われる教科用図書を選定し、県教育委員会に採択申請を行う。県教育委員会は各学校長からの採択申請に基づいて審査を行い、採択する。

<根拠法令>

採択の規定（義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条）

- 県立特別支援学校において使用する教科用図書の採択は、あらかじめ選定審議会の意見を聞いて、種目ごとに一種の教科用図書について行うものとする。
- 県立特別支援学校において使用する教科用図書は、「特別支援学校用（小・中学部）教科書目録」に登載された教科用図書のうちから採択しなければならない。
- 県立特別支援学校、特別支援学級においては、学校教育法附則第9条の規定により、目録に登載されている教科用図書以外のものを使用することができる。

平成29年6月13日

鳥取県教育委員会
委員長 中島 諒人 様

鳥取県教科用図書選定審議会
会長 谷中 久和



平成30年度に使用する小学校教科用図書並びに特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択に関する事項について（第2次答申）

平成30年4月27日付けで諮問のあった平成30年度に使用する小学校並びに特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択に関する下記の事項について、別添のとおり答申します。

記

- 1 平成30年度に使用する小学校教科用図書（特別の教科 道徳）の選定に必要な資料について
- 2 平成30年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の選定に必要な資料について

平成30年度に使用する小学校教科用図書を選定に必要な資料

平成29年度作成

特別の教科 道徳

鳥取県教科用図書選定審議会

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 2	略称 東書	書名 新しい道徳
----------	----------	---------	-------	----------

項目		特徴
ついで 学習方法の工夫に	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 各教材名の右横に学習のテーマが示され、児童が考える方向付けがなされている。</p> <p>イ 道徳の学習のイメージを捉えやすくするため、「道徳の学習を進めるために」が設けられている。(3年 P4, P5)</p> <p>ウ 学習案内役のキャラクター「こころん」が学習意欲を高めるための言葉かけをしている。</p>
ついで 内容の構成・配列に	②学習内容の構成・配列の工夫	<p>ア いじめ防止効果を高める工夫として、「いじめ問題」に関わる教材は2つの教材を組み合わせて設定されている。(3年 P30, P33)</p> <p>イ 行事や季節、児童の生活実態に合わせた配列となっている。</p> <p>ウ 低学年では幼児教育との関連、高学年では中学校教育との関連を意識した配列になっている。(1年 P2~7, 6年 P156, P175)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 低学年では、考えさせたい価値について自分の考えを深められるようキャラクター「こころん」が、教材の最初に語りかけるようになっている。(1年 P16)</p> <p>イ 読み物教材を通して道徳的価値をより深められるよう、学習活動ページが学年段階に合わせて2~5教材配置されている。('つながる・広がる' 6年 P39)</p> <p>ウ 「出会う・ふれ合う」マークの教材では、他者理解を助ける内容が扱われており、各学年に2つずつ設定されている。(1年 P26, 6年 P19)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 3年生以上では「問題を見つけて考える」ページを設け、生活に生かしていくことができる問題解決的な学習を取り入れている。(3年 P70)</p> <p>イ 3年生以上の「つながる・広がる」マークの教材、全学年の巻末付録では、各教科等における道徳教育との関連を取り上げている。</p> <p>ウ 導入教材において、「話合いの約束」が示されており、話合いを通して考えを深めていく方法が具体的に示されている。(3年 P5)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア キャラクター「こころん」の言葉を通して、児童が自分のことを見つめ振り返ることができるよう、キャラクターが話しかける等工夫されている。</p> <p>イ 心情を推察させたり、価値に迫ったり、それぞれの教材に応じて提示の仕方が工夫されている。(3年 P47, P127)</p> <p>ウ 巻末に、児童が自らの学びを振り返り、書くことで自分の成長を見つめたり友達の意見からの気づきを書いたりできるページがある。</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	<p>ア いじめ問題や情報モラル、安全・防災教育、食育、国際理解、平和などに対応した教材が扱われている。</p> <p>イ 目次がマークや色分けで分類されている。('問題を見つけて考える」「いじめのない世界へ」「情報モラル」など)</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 11	略称 学図	書名 かがやけみらい
----------	----------	----------	-------	------------

項目		特徴
ついで 学習方法の工夫に	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 「活動」の冊子の中に、「活動の資料（1、2年生は「かつどうのヒント）」のページがあり、学習の仕方が学年に応じて示されている。（1年P43～、6年P49～）</p> <p>イ 道徳の学習のイメージを捉えやすくするために、「読みもの」の冒頭に「道徳の学習を始めよう」が設けられている。（1年P2, P3, 6年P2, P3）</p> <p>ウ 主体的に課題を発見することを促すため、「読みもの」の中に発問や気づきへのヒントなどは書かれていない。</p>
ついで 内容の構成・配列に	②学習内容の構成・配列の工夫	<p>ア 「読みもの」と「活動」の2分冊になっている。「活動」は、児童の変容や成長が見取りやすいよう内容項目ごとの見開きページで構成されている。</p> <p>イ 35教材（1年34教材）と6本のコラムで構成されており、学校行事や時節に合わせた教材配列になっている。</p> <p>ウ 文化の担い手としての意識を高められるように、「長く親しまれ、続いてきた伝統文化」「意識的に守り続け、価値づけていく伝統文化」についての教材が取り上げられている。</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 「活動」の最後の「みつめよう」において、本時の学習で扱う価値の理解につながる問いが設定されている。</p> <p>イ 視点と主題から道徳的価値に焦点化し、課題に向かう姿勢をつくるための工夫として、「読みもの」の題名の上に視点マーク、横に主題が短い言葉で書かれている。</p> <p>ウ 「活動」では、同一の内容項目ごとに見開きページになっており、同一の価値についての理解を深めるよう工夫されている。</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 「読みもの」の内容を受けて、さらに対話を促すような活動を「活動」で設定している。対話を通じて多面的・多角的に考える力を育てられるように「読みもの」と「活動」が連動したつくりになっている。（6年読みものP136～138, 活動P34）</p> <p>イ 「活動」には、対話を通じて多様な考え方に触れられるよう、問いや活動が「考えよう」「話し合おう」マークで示されている。</p> <p>ウ 「活動」の「やってみよう」では、多様な手法を通して、多様な考えを実感できるよう動作化や役割演技などの体験的な学びにつながる問いが示されている。（1年P6, P9, 6年P51）</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 「活動」では、同じ内容項目について学習していくことで、自己の成長や考えの深まりが自覚しやすく自己の考えが深まっていくようなページ構成となっている。</p> <p>イ 「活動」の「みつめよう」では、価値を自分事として捉えられるよう自らを振り返る発問が設定されている。</p> <p>ウ 「活動」の「広げよう」では、実生活を見つめたり、内容項目と日常生活や地域との関連を考えたりできる内容のページがある。</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	<p>ア 学校での学びが家庭等とも共有できるよう家庭教育との連携を意識した「保護者の方へ」が、「活動」の巻末に位置付けられている。</p> <p>イ 読みものコラムとして、情報モラル教育、いじめ問題、防災・安全教育、人権・福祉教育、キャリア教育、五輪教育について、全学年で取り上げられている。</p> <p>ウ 「活動」の特設ページには、のりしろ部分があり、自作のワークシートや資料等を貼って記録に残し、ポートフォリオ的に活用できるようになっている。（6年活動P5）</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 17	略称 教出	書名 はばたこう明日へ
----------	----------	----------	-------	-------------

項目		特徴
学習方法の工夫について	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 各教材の最初に「学習のねらい」が示され、児童が考える方向付けがなされている。</p> <p>イ 1年間の学習を見通せるよう「○学年の道徳の学習が始まるよ」ページが設けられている。</p> <p>ウ 道徳的価値を意識しながら考えを進められるように、各見開きページの左上に主題を明記している。</p>
内容の構成・配列について	②学習内容の構成・配列の工夫	<p>ア 授業の流れに沿って学習を整理しやすいように、各教材の最後に「学びの手引き」がある。また、「学びの手引き」には、複数の問いが用意されている。(高学年4～5程度)</p> <p>イ 内容項目ごとに教材がまとめている。</p> <p>ウ 各分野で活躍した人物に関する教材を多く取り上げている。特に、上学年では顕著である。(5年14名, 6年18名)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 自分の体験を通して価値理解できるように、教材の中に体験的な学習が位置付けてある。(5年P8～11, 6年P117)</p> <p>イ 「学びの手引き」を教材ごとに設け、道徳的価値の理解を深めることのできる問いを位置付けている。</p> <p>ウ 「学びの手引き」の中に、道徳的価値の理解を深めることを目指した「ジャンプ」を設け、役割演技や児童の予想される反応なども記載されている。(1年P93, 3年P7, 5年P19)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 「いじめをなくす」「情報モラル」「生命尊重」に関わる教材を、多面的・多角的に議論できる教材として位置付けている。(スマーク)</p> <p>イ 道徳的価値をより深め、学校や地域の実態に応じて弾力的に活用できるように、巻末に補充教材が用意されている。(1年4本, 2年以上5本)</p> <p>ウ 多様な体験的な活動ができるようにアクティビティーやモラルスキルトレーニングを取り入れ、体験を通して、人としての行いについて考えるために「スキル」が設けられている。(1年P34, P62, 3年P53, 5年P8, P71)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 多様な人の生き方から学ぶために、人物に関わる教材が多く取り上げられている。(全学年で50人以上の先人や偉人)</p> <p>イ 自分の成長に気づけるように、「道徳の学習を振り返ろう」が巻末に位置付けられている。</p> <p>ウ 学びの手引きの最後に、「自分の意見を書いてまとめること」や「友達と話し合うこと」を促す問いが取り入れられており、自分の生き方や考え方を深められるよう工夫されている。</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	<p>ア 「いじめをなくす」「情報モラル」「生命尊重」についての内容は、特に重点化しており、スマークで区別して示されている。</p> <p>イ 思考の妨げにならないように、難語句や歴史上の出来事についての脚注がある。(5年①⑨自然環境を大切に P110～113)</p> <p>ウ 低学年の巻末には、礼儀やマナーが図示されている。</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 38	略称 光村	書名 きみがいちばんひかるとき
----------	----------	----------	-------	-----------------

項目		特徴
学習方法の工夫について	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 児童に問いかけたい、考えさせたい場面で、児童が興味を持って取り組めるように、キャラクター「こころん」と「きらりん」を設定している。(各学年目次ページ)</p> <p>イ 児童が考えたり活動したりする助けとなるよう、学び方や活動のモデルが分かりやすく示されている。(3年P67, P132, P133)</p> <p>ウ 巻頭の「道徳の時間は」で学習の仕方が具体的に示されている。</p> <p>エ 更なる学びを深めるため、テーマに関連した類似図書を示している箇所がある。</p>
内容の構成・配列について	②学習内容の構成・配列の工夫	<p>ア 学校生活とそれに伴う児童の1年間の成長を考慮して、1年間を4つの「学習のまとめり」に分けている。それぞれのまとめりごとに、視点の重点化を図っている。</p> <p>イ 1時間1時間の学びが結びつくよう、内容項目間の関連を考慮し、指導の順序を意識した配列となっている。</p> <p>ウ 道徳の学習で最も大切にすべき内容を「命」と捉え、巻頭に「みんな生きてる みんなで生きてる」の文言が全巻共通して示されている。</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 道徳的な価値に迫るための中心的な問いが、「考えよう」の中で示されている。</p> <p>イ 複数の道徳的価値が含まれた内容として、「なんだろう なんだろう」が設定されている。(3年P106, P107, 4年P102, P103)</p> <p>ウ 全学年で、道徳的行為に関する体験的な学習として、より良い人間関係を築くための技能について具体的に示した巻末付録がある。(3年P171)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 読みもの教材の後に「つなげよう」が示されている。「つなげよう」では他教科と関連する図書の紹介や同じ内容項目との関連、生活の中で考えてほしいことが捉えられるように工夫されている。(6年P74, 5年P165)</p> <p>イ 自分と道徳で学ぶ世界とのつながりが、視覚的に捉えられるように「わたしたちの学ぶ世界」が見開きで示されている。</p> <p>ウ 物事を多面的・多角的に考えることができるよう、教材とコラムを一つのユニットにまとめて取り扱っている。(3年以上で5ユニット)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 自分の成長を自覚することができるように、学習のまとめりごとに「学びの記録」が設けられている。(5年P32, 6年P38)</p> <p>イ 自分の行いを振り返ったり、これからの生活の中で考えてほしいことや、他教科との関連を考えたりする場となるように、キャラクターが「つなげよう」で問いかけている。(6年P74, 5年P165)</p> <p>ウ 3年以上の巻末付録「あなたへのメッセージ」において、各分野で活躍している人物から、児童が自分のこととして捉えられるような言葉が示されている。(3年 内村航平, 中川季枝子, 4年 吉田沙保里, さかなクン など)</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	<p>ア 道徳の時間以外にも活用可能なコラムを各学年に配置している。「情報モラル」「いじめ問題」「環境」「国際理解」「福祉・共生」の5つのテーマが設けられている。(各学年目次ページ)</p> <p>イ 新しい見方を示唆する教材(6年P52~56)、漫画形式(5年P100~105)、写真(5年P62, P63)、一枚絵やデータ(6年P102~106)から考える教材など、児童の発達段階を考慮した取り上げ方がなされている。</p> <p>ウ 難語句の説明や難しい漢字にルビがふってある。読みのつまずきを軽減するために、行頭に助詞が来ないように配慮されている。(1年P80)</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 116	略称 日文	書名 生きる力
----------	----------	-----------	-------	---------

項目		特徴
学習方法の工夫について	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 自分の考えを書き残したり比べたりできるように、道徳ノートに、教材に対応した形で問いと記述欄が設けられている。</p> <p>イ ガイド役のキャラクター「ココロウ」と児童の思考をサポートするキャラクター「りさ、なおや、あかね、はるひと」が登場し、学習を促している。</p> <p>ウ 興味関心をもって教材に向き合えるよう写真が多く使用されている。</p>
内容の構成・配列について	②学習内容の構成・配列の工夫	<p>ア 学校の実態、児童の実態に応じて、柔軟に指導計画が立てられるよう、35（1年生は34）教材と付録教材3～4教材で構成されている。</p> <p>イ オリエンテーションのページ「道徳の学び方」で、体験活動、言語活動（書く）を重視している。</p> <p>ウ 現代社会にふさわしい児童の道徳的価値を育むために、指導内容の重点化（ユニット）を図る内容には、それぞれ複数の教材を配置している。（6年P14～29、いじめに関する内容で3教材と「心のベンチ」で構成されている）</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 押さえない価値に焦点化できるよう、キャラクター「ココロウ」が、教材ごとに導入になる言葉を語りかけている。</p> <p>イ 教材に対する児童の理解を助けるため、あらすじや登場人物が示されている。</p> <p>ウ 道徳ノートに、他者理解を深めるため、自分とは異なる「友達の考え」を書くページが設けられている。</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 自分の考えと友達の考えを比較できるよう、道徳ノートに自分と違う意見やいいなと思う友達の考えを記録できるようになっている。</p> <p>イ 家庭との連携や他の教育活動との関連を考えることに役立つ「心のベンチ」が設けられている。（2年P120, 4年P12）</p> <p>ウ 友達の意見を聞き、考えを深めていけるよう学習の手引きとして、問題解決的、体験的な活動の参考となるページが設けられている。（3年P32, 6年P36）</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 自らの成長の記録を蓄積していくことができるよう道徳ノートが付属している。また、教材ごとに、思考力・判断力、道徳実践力に関わる自己評価欄がある。</p> <p>イ 道徳ノートの巻末に、児童が自らの学びを振り返り、保護者に考えを伝えることを促すページがある。保護者記入欄もあり、家庭との連携を図るために活用できる。</p> <p>ウ 教材ごとに自分の考えを整理できるよう、キャラクターの問いかけ「見つめよう・生かそう」「考えてみよう」が工夫されている。</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	<p>ア 教科書の裏表紙（内側）の学習指導要領内容項目別一覧の中に、テーマ、手引き、デジタル教材との関連が示されている。</p> <p>イ いじめ防止、安全の確保（防災・防犯、交通安全）、情報モラル、持続可能な発展に関わる教材を取り扱っている。</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 208	略称 光文	書名 ゆたかな心
----------	----------	-----------	-------	----------

項目		特徴
ついで 学習方法の工夫に	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 児童の主体的な思考を促すため、児童に寄り添うキャラクター「みらいさん、ゆたかさん、トーリー、わんだ先生」が登場する。</p> <p>イ 道徳性を養う意義を児童自ら考え、目的意識をもって取り組めるよう、オリエンテーションページ「さあ、道徳の学習が始まります」(P2～9)が設けられている。</p> <p>ウ 「まとめる」「広げる」について考えることで、学習を振り返り、授業後の活動へとつながるようになっている。</p>
ついで 内容の構成・配列に	②学習内容の構成・配列の工夫	<p>ア 学校や地域の実態に応じて弾力的に取り扱えるよう、35(1年生は34)教材と付録教材5～6教材で構成されている。</p> <p>イ 各教材の冒頭に、その教材を通して考えさせたいことや問いが示されている。</p> <p>ウ 生命尊重については、6年間を通して重点主題として扱っている。</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めたいくための工夫	<p>ア 道徳的価値の理解を深められるよう重点主題教材マークを定め、複数の教材を続けて学習できるように工夫されている。(5年P37～45)目次ページでは「〇年生で特に考えたいこと」として色とマークで分かりやすく示している。</p> <p>イ 価値理解を深めるために、「まとめる」として、その時間に学習したことを振り返るポイントを提示している。</p> <p>ウ 他者理解を深めるために、発達段階に応じた様々なグループワークが提示されている。(3年P14, 6年P22)</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 児童自身の考えを深めたり広げたりするために、キャラクターが、思考を促す発問を投げかけている。</p> <p>イ 言語活動や体験的な活動を通じた学びを促すために、コラム「言葉の宝物」(4年P159)、道徳のノートの作成例(2年P9)、「やってみる」(6年P5)を取り入れている。</p> <p>ウ グループワークにより多様な見方や考え方に触れることができるよう、「みんなでやってみよう！」が全学年に設定されている。(2年P42)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 道徳の学習がスパイラルの学習となっていることをオリエンテーションページに図で示している。</p> <p>イ 短い言葉で授業や自分の考えを記録に残せるよう、巻末に学びの足跡のページがある。</p> <p>ウ 教材ごとに、学んだことが他教科や他領域等につながるような投げかけ「広げる」が設けてある。</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	<p>ア いじめ問題に関わる内容は、各学年1つずつ設定されており、全学年を通して「ちびまる子ちゃん」マークで示されている。(4年P158)</p> <p>イ 「情報モラル」「いじめの問題」「健康教育」「防災教育」「キャリア教育」についても、教材の中に取り込んでいる。</p> <p>ウ 3年生までは、すべての漢字に振り仮名がふってある。また、思考の妨げにならないよう、難語句等については、脚注が設けてある。</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 224	略称 学研	書名 みんなの道徳
----------	----------	-----------	-------	-----------

項目		特徴
ついで 学習方法の工夫に	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 意見文、物語、詩、劇、漫画など多様な形式、身近な内容や遠大な内容等様々な教材で構成されている。</p> <p>イ 児童自ら課題を見つけて考えられるように、特定の価値観を押し付けない展開にしてある。</p> <p>ウ 巻頭に「道徳の学習が始まるよ」が示され、学び方のヒントを知ることができるようになってきている。また、自発的な学習意欲の向上を図るために、4年生以上で「道徳の学習で頑張りたいこと」を記述できるようになっている。(5年P4の下)</p>
ついで 内容の構成・配列に	②学習内容の構成・配列の工夫	<p>ア 教材の冒頭に主題に関わることを示していない。</p> <p>イ 最重点テーマを「いのちの教育」とし、全学年にわたって複数の教材を扱っている。また、重点テーマは、発達段階に応じた内容を2学年ごとに示して複数教材扱っている。(5年P77～93, 6年P13～27の間に3教材配置)</p> <p>ウ 他教科や様々な教育活動との関連を図りながら、道徳的価値の視点で学習を深められるよう工夫されている。(裏表紙内側の一覧)さらに、主な関連については、巻末に一覧で提示してある。</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア 新たに加わった内容項目については、道徳的価値の理解を促すよう、教材文の後に「学び方のページ」が設けられている。</p> <p>イ 学び方のページ「深めよう」では、学習した内容をさらに追求することができ、道徳的価値についての理解を深められるよう工夫されている。(4年P11, 5年P20, P65, P142)</p> <p>ウ 巻頭の「道徳の学習が始まるよ」の中に、価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための手がかりが、発達段階に応じて具体的な児童の姿として示されている。</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 学び方のページ「やってみよう」で、教材で学習したことと関連した体験型の学習を行うことで、様々な考えや意見に出合うことができるように工夫されている。(5年P113, 6年P33)</p> <p>イ 教材に関する様々な情報を提供し、児童の視野を広げられるように、学び方のページ「広げよう」が設けられている。(4年P79, 5年P21, P53, P76, P93, P117, P143)</p> <p>ウ 家庭と連携する学習活動として、家マークを提示し、家族の意見を聞き、物事を多面的・多角的に捉える工夫がされている。(3年P81, P111, 6年P33)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 教材で学習したことをもとにして、自己を見つめ、自分の生活や生き方につなげて考えられるよう、学び方のページ「つなげよう」が設けられている。(5年P11, P43, 6年P97, P108)</p> <p>イ キャリア教育の視点の教材を通して、働くことや個性を生かした生き方などについて、自分の生き方を振り返ったり生かしたりできるよう工夫されている。(5年P34～37, P62～65, 6年P30～33, P58～62)</p> <p>ウ 1冊全体で1年間の自分の成長を感じ、これからの生き方を考えていけるよう、巻頭の自分を見つめるページ、巻末に1年間の学びを振り返るページが設けられている。</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	<p>ア 幅広い視点から学習できるよう、いじめ防止につながる教材を複数扱っている。(1年8教材, 2年5教材, 3年8教材, 4年7教材, 5年6教材, 6年7教材)</p> <p>イ すべての教材が、見開きで始まり、自分を見つめるページは、縦書きの教材文と区別して、横書きで展開されている。(6年P103)</p> <p>ウ 情報モラルをはじめ現代的な課題への対応に関する教材が多く取り入れられ、課題を自分との関係において考え、解決していこうとする態度を育てられるようになってきている。情報モラルに関する教材には、本文中にマークが示されている。</p>

特別の教科 道徳	特別の教科 道徳	発行者番号 232	略称 廣あかつき	書名 小学生の道徳
----------	----------	-----------	----------	-----------

項目		特徴
ついでに 学習方法の工夫	①自主的・自発的な学習を促すための工夫	<p>ア 授業の事前・事後・導入・終末に応じて活用できるよう、ノートが読み物と別冊になっている。</p> <p>イ 教材の最後に「考えよう話し合おう」が設定されており、児童の主体的な学びを促す工夫がなされている。教材ごとの学びの手がかりとしても「考えよう話し合おう」が位置付けられている。</p> <p>ウ 自分で必要に応じてノートと教材を関連付けられるように、それぞれの各題名の下に、関連ページが記載されている。</p>
ついでに 内容の構成・配列に	②学習内容の構成・配列の工夫	<p>ア 発達段階に応じた重点項目と教材配置がなされている。複数の教材を2時間連続で扱うなど、より重点的に学べるよう工夫されている学年もある。(4年P32～, P36～)</p> <p>イ 4つの視点ごとにノートが構成されている。(各学年目次ページ)</p> <p>ウ 指導者の意図や児童の実態に応じた柔軟な活用ができるように、内容項目を一つに絞らず複数示した教材もある。(巻末一覧による)</p>
道徳の目標に関連する工夫について	③価値理解・人間理解・他者理解を深めていくための工夫	<p>ア ノートには、発達段階に応じた分かりやすい言葉で道徳的諸価値が説明されている。(1年P4, P6, 5年P2, P4)</p> <p>イ 「考えよう話し合おう」の中には、「学習を広げる」が設けられ、教材に関連した知識理解や道徳的諸価値の更なる深まりを促す内容や役割演技や調べ学習などについての内容が示されている。(5年P51, P55)</p> <p>ウ オリエンテーション「道徳の時間はこんな時間」(1年「どうとくのかんがはじまるよ」)では、発達段階に応じた表現で学び方が示されており、それぞれの理解について丁寧に説明されている。</p>
	④物事を多面的・多角的に考えるための工夫	<p>ア 教科書で学んだ道徳的諸価値について、多面的・多角的に捉えて意識できるように、「体験活動の記録」のページがノートの後半に設けられている。(5年P60～61)</p> <p>イ 家族の考えを知り、考える機会を持つことに役立てられるよう、道徳ノートの「心のしおり」には、家庭との連携を図る欄がある。</p> <p>ウ 他者の多様な感じ方や考え方に触れたり、新たな考え方や見方につながる視点を得たりできるよう、みんなで考え、話し合う協働的な学習が位置付けられている。(3年P12, P59)</p>
	⑤自己の生き方についての考えを深めるための工夫	<p>ア 毎時間、学期ごとに自己評価ができるよう、巻末折り込みとして「心のしおり」がある。</p> <p>イ 道徳ノートは、内容項目ごとに問いが掲載されており、自問と内省へ導き、道徳的思考を深める工夫がなされている。</p> <p>ウ 自分の生き方を見つめ考えられるよう、様々なジャンルで活躍する人物についての教材を多数扱っている。(1, 2年8名、3, 4年11人、5, 6年26人)</p>
その他	⑥今日的な教育課題との関わり、表記、表現の工夫など	<p>ア 道徳教育と家庭や地域との連携を促すために、周りの人と関わる問いを取り入れている。(3年道徳ノートP32, P42, 5年道徳ノートP44)</p> <p>イ 現代的な課題に関わる「生命尊重」「ともに生きる社会」「情報モラル」について発展的に考える特集が設けられている。各教材と併用して扱うこともできる。(5年P150～155, 6年P158～163)</p>

平成30年度に使用する特別支援学校及び
特別支援学級における教科用図書の選定に必要な資料

平成29年度作成

鳥取県教科用図書選定審議会

発行所	図書コード	書名	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	教科、教科の内容の段階、学習形態
偕成社	533	日本の 絵本 100かい だてのいえ	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な生き物が10階ごとに暮らす100階だての家の様子を、1階から順に登っていく物語 ・1階から100階までを、10階ごとに縦の見開きページで構成 ・各階に数字表記があり、1階から順にたどりながら登っていく構成 	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物が暮らす様子から、物の名前や、様子や気持ちを表す言葉を広げることができる。 ・読み聞かせや伝え合いなど、幅広い活動の展開が期待できる。 ・生き物や家庭に関するところに、興味や関心を持つことができる。 ・絵本の構成や生き物が暮らす様子から、教への興味関心を高めたり、初歩的な数の概念を学んだりすることができる。 ・イラストが細かく情報量が多いため、実態に応じて扱う内容や提示の配慮が必要である。 ・ひらがなとカタカナで表記 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦22cm、横31cm ・32ページ ・表紙はボール紙、本文は最厚口 ・文字13ポイント ・HG丸ゴシック ・全ページカラーでやわらかい色合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語、生活、算数 ・小学部1～3段階 ・一斉授業、個別学習
合同出版	530	絵でわかる こどもの せいけん ずかん1 みのまわり のきほん	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な生活に関する動作を、イラスト付きでわかりやすく紹介 ・朝起きてから夜寝るまでの生活場面ごとに、見開きで示し、一日の流れに沿って構成 	<ul style="list-style-type: none"> ・着替えや掃除、生き物の世話など、生活場面ごとに手順や動作のポイントを学ぶことができる。 ・ドアは静かに閉める、大切なものは入れ物に入れて渡すなどのマナーも含まれており、手順や動作とともに学ぶことができる。 ・イラストをもとに、生活場面での動作の確認や振り返りをすることができる。 ・個々の児童の生活の実態に応じて配慮する必要がある。 ・ひらがなで表記 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦26cm、横21cm ・45ページ ・表紙、本文ともケント紙 ・文字14ポイント ・丸ゴシック体 ・全ページカラー 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活 ・小学部2～3段階 ・一斉学習、個別学習

発行所	図書コード	書名	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	教科、教科の内容の段階、学習形態
小学館	503	ドラえもん ちずかん1 につぼん ちず	<ul style="list-style-type: none"> 日本のいろいろな地域の特色や文化をキャラクターが紹介 見開きページで構成(クイズ付) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地域(～地方)や春夏秋冬ごとに内容が構成されており、各都道府県の名称や位置、特産物や伝統文化などを学ぶことができる。 クイズをもとに地図を読み取ったり、地域の様子等への興味関心を高めたりできる。 情報量が多く、写真等の配置が複雑なため、提示する際には配慮が必要である。 ひらがなとカタカナで表記 	<ul style="list-style-type: none"> 縦30cm、横22cm 39ページ 表紙はボール紙、本文は最厚口 文字10ポイント ゴシック体 全ページカラー 	<ul style="list-style-type: none"> 生活、社会 小学部3段階、中学部 一斉授業、個別学習
学研	794	あそびの おうさま ずかん12 リサイクル こうさく 増補改訂	<ul style="list-style-type: none"> 身近な材料を使った工作(遊ぶものの、飾るもの)を掲載 はさみやのり、絵の具などの道具の名前や使い方を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な難易度の工作が多数掲載されており、幅広い実態の子どもに使用できる。 「道具の使い方」のページを通して、材料や道具の名前や扱い方を理解することができる。 生活の中で不要になったものをリサイクルして工作することで、家庭や社会とのかかわりに気付いたり、物を大切にすることを育てることができる。 手順を確認しながら、一人でも大人と一緒に工作することができる。 幼児向けに書かれており、生活年齢が高い児童生徒に対しては配慮が必要である。 実際の企業名や商品名が記載されており、取扱いに配慮が必要である。 ひらがなとカタカナで表記 	<ul style="list-style-type: none"> 縦26cm、横23cm 64ページ 表紙はケント紙、本文は最厚口 文字16ポイント MSゴシック 全ページカラー 	<ul style="list-style-type: none"> 生活、図画工作・美術 小学部2～3段階、中学部 一斉授業、個別学習

発行所	図書コード	書名	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	教科、教科の内容の段階、学習形態
小学館	504	ドナエもん ちずかん2 せかいちず	・世界のいろいろな国や地域の特色や文化をキャラクターが紹介 ・見開きページで構成(クイズ付)	・大陸や食文化、衣服、住居などで内容が構成されており、国の名称や位置、名所や伝統文化などを学ぶことができる。 ・クイズをもとに、地図を読み取ったり、いろいろな国や地域への興味関心を高めたりすることができる。 ・情報量が多く、写真等の配置が複雑なため、提示する際には配慮が必要である。 ・ひらがなとカタカナで表記	・縦30cm、横22cm ・38ページ ・表紙はボール紙、本文は最厚口文字10ポイント ・ゴシック体 ・全ページカラー	・生活、社会 ・小学部3段階、中学部 ・一斉学習、個別学習
小学館	511	あーと ぶつく ひらめき 美術館 第1館	・世界の著名な絵画、彫刻などの作品を紹介 ・1つの作品を見開きページで紹介(左ページに解説、右ページに作品)	・優れた美術作品の鑑賞を通して、その特徴や美しさを味わい、作品を身近に感じることができる。 ・作品の紹介だけでなく絵を描いたりクイズに答えたりするページもあり、表現する意欲を高めることができる。 ・いろいろな鑑賞の仕方があることを示したり問いかけたりしている。 ・漢字はルビ付き	・縦22cm、横22cm ・64ページ ・表紙はボール紙、本文は特厚口 ・文字16ポイント ・手書き風の文字 ・全ページカラー	・美術 ・中学部、高等部1～2段階 ・一斉学習、個別学習
小学館	755	デコボコ えほん かずを かぞえ よう!	・突起や溝に触れながら、1から10までの数に親しむ内容 ・色数が少なくイラストもシンプルで視覚的に捉えやすいデザイン ・厚くめぐりやすいページ	・1から10までの数について、丸い突起に触れて数えたり、溝をなぞって数字の形を捉えたりすることができ。 ・初歩的な呼称(ひとり、ふたつ、3びき等)に触れることができる。 ・身近な生き物や乗り物が登場し、児童の興味関心を高めることができ。 ・ひらがなとカタカナ表記で、2語文の表現となっている。	・縦18cm、横18cm ・20ページ ・ボール紙 ・文字14ポイント ・丸ゴシック体 ・全ページカラー	・算数 ・小学部1～2段階 ・個別学習

発行所	図書コード	書名	内容の特徴	内容の程度	印刷・製本	教科、教科の内容の段階、学習形態
日本教育研	504	ひとりだち するための 国語	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な国語の内容を学べる書き込み式テキスト 「基礎を学ぼう」「国語力をつけよう」の二部構成 	<ul style="list-style-type: none"> 場に合ったあいさつの仕方、新聞の読み方、礼状の書き方など、生活に必要な「聞く、話す」「読む」「書く」力を高めることができる。 インタビューや読書発表会、調べ学習の章を通して、基礎の内容を活用したり伝え合う力を高めたりすることができる。 進路学習や職場体験等で応用することが期待できる。 厚生労働省の公正公平な採用の通達の趣旨にそぐわない箇所があり、特に留意が必要である。(P17～面接の練習、P87～履歴書の様式) 数力所言葉の間違ひがあるため、留意が必要である。 漢字はルビ付き 	<ul style="list-style-type: none"> 縦26cm、横18cm 128ページ 表紙は特厚口、本文は厚口 文字14ポイント 明朝体 赤と黒の2色刷り 	<ul style="list-style-type: none"> 国語 中学部、高等部1～2段階 一斉指導、個別学習
ひかりのく	686	マナーや ルールが どんどん わかる！ みぢかな マナー 新装改訂版	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で目にする身近なマナーを紹介 マナーの名前と意味を簡単な言葉で説明 マナーは、2014年現在のもの 	<ul style="list-style-type: none"> 施設や公共交通機関で目にするマナーや道路標識、衣類や食品のマナーなどを通して、家庭や身近な公共物への興味関心を高めることができる。 公共施設の利用や交通ルール、製品の取り扱い等、生活に必要なマナーやルールを学ぶことができる。 家庭生活における被服、食物、住居等の基礎的な知識と技能について、マナーと関連付けながら学ぶことができる。 実際の企業名が掲載されており、取扱いに配慮が必要である。 情報量が多いため、提示する際には配慮が必要である。 ひらがなとかたかなで表記 	<ul style="list-style-type: none"> 縦21cm、横23cm 64ページ 表紙はボール紙、本文はケント紙 本文18ポイント、マナーの意味の文字は8ポイント 丸ゴシック 全ページカラー 	<ul style="list-style-type: none"> 生活、社会、職業・家庭 小学部3段階、中学部 一斉指導、個別指導

諮 問

鳥取県教科用図書選定審議会

小学校教科用図書（特別の教科 道徳）については、平成30年度に新たな教科用図書を採択し使用することになっており、この教科用図書の採択事務を平成29年度に行わなければなりません。

鳥取県教育委員会は、この採択事務を行う市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長に対して、適切な指導、助言又は援助を行う必要があります。

よって、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律（昭和38年法律第182号）第11条第1項の規定により、下記事項について諮問します。

平成29年4月27日

鳥取県教育委員会委員長

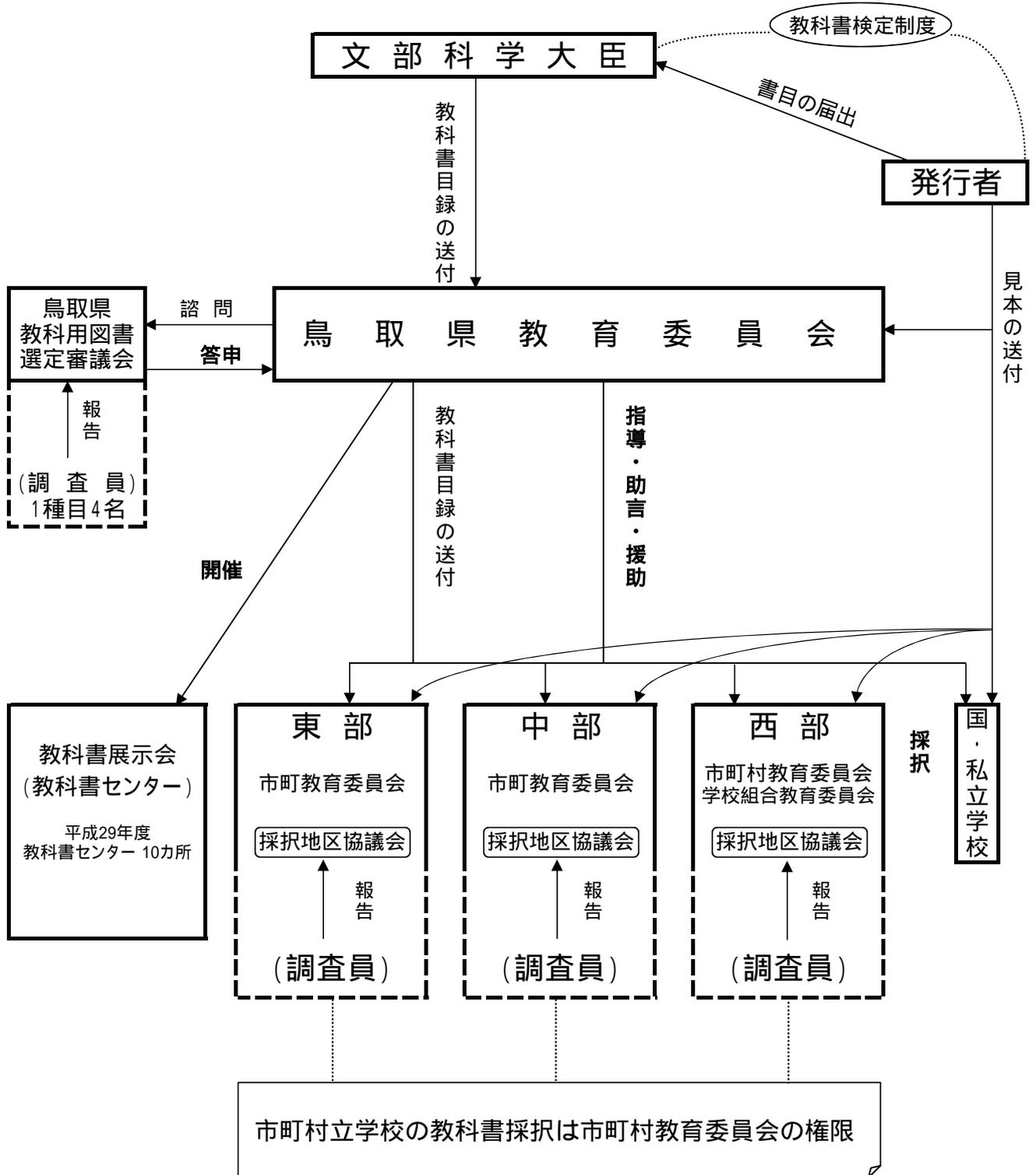
中 島 諒 人



記

- 1 平成30年度に使用する小学校教科用図書（特別の教科 道徳）の採択基準について
- 2 平成30年度に使用する小学校教科用図書（特別の教科 道徳）の選定に必要な資料について
- 3 平成30年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の採択基準について
- 4 平成30年度に使用する特別支援学校及び特別支援学級における教科用図書の選定に必要な資料について
- 5 市町村教育委員会及び義務教育諸学校（公立の義務教育諸学校を除く）の校長が採択する場合に県教育委員会が行うべき役割について
- 6 県が設置する義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択について

教科書採択の制度概要



(注) ・各市町村教育委員会における採択結果は、8月31日までに県教育委員会に報告される。